

(4) 混雑時の速度

『道路交通センサス』では、朝または夕方の混雑時に実際に自動車で行き、調査区間通過の所要時間から「旅行速度」を調査している。

平成 11 年 10 月 7 日(木)における一般道路の混雑時の速度(旅行速度)は、左図のように観測された。

- 放射状方向の道路では、混雑時でも概ね 20Km/h 程度の速度が保たれているが、環状 8 号線では部分的に 8Km/h 程度にまで低下している。
 - 環状 8 号線の混雑時速度は、新青梅街道と交差する井荻トンネル付近では 35Km/h と高い走行性が保たれているものの、谷原交差点周辺以北では 8~12Km/h、青梅街道以南では 8~20Km/h と、速度の低下が著しい。
 - 環状 7 号線は、若林陸橋以南は 22~25Km/h であるが、以北は 10~17Km/h と速度が低下している。
 - 放射方向の路線(環状 7 号線以西)の混雑時速度は、青梅街道が 18~23Km/h、甲州街道(国道 20 号)が 22~32Km/h、国道 246 号が 17~21Km/h である

【参考】旅行速度

「旅行速度」とは、「調査区間の延長」を「信号や渋滞等による停止時間を含めた通過時間」(旅行時間という)で割算したものである。